

協議の場の取りまとめ

市町村名 (市町村コード)	名古屋市 (23100)
地域名 (地域内農業集落名)	東谷 (東谷)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年10月24日

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・ 本地域は、丘陵地帯で田は存在せず、ブドウを中心とした果樹や花苗、野菜等作目が多様化し、農地の集積は進んでいない。
 ・ 耕作者の高齢化や後継者不足に直面し、また、農地を集積し規模拡大を希望する農業者が地域に不在のため、広く農業者を誘致する必要がある。
 ・ 公道に接していないなど農地中間管理機構（機構）の賃貸借になじまない農地が見受けられる。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域農業を維持・発展していくためには、地域の中心となる新たな経営体を輩出する必要がある。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	5.1ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	5.1ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方（範囲は別添地図のとおり）

農業振興地域農用地区域内の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針

担い手の確保に努め、集積を進める環境を整える。

(2) 農地中間管理機構の活用方針

農地の賃貸借は、原則として、機構を通じて行う。

(3) 基盤整備事業への取組方針

-

(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針

就農準備等のための制度資金の活用や農業の技術・知識習得の支援等により、農業を担う者の育成・確保に努める。

(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

委託による業務の効率化、収益向上が地域単位で期待できる作業の提案があった場合は、協議の場等でその適否について図っていく。

以下任意記載事項

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

①イノシシの被害が発生しているため、防護柵の設置やその改修など被害防止に努めていく。